

知りたい!財政のこと

令和7年度決算
問い合わせ 財政課 ☎574-6632

令和7年度の決算がまとまりましたので、概要と市の財政状況をお知らせします。



財政課の職員が疑問に答えます。

※ページ内の金額や数値は、四捨五入して表記しているため、合計が合わない場合があります。



財政ってなんだろう？

国・県・市などが行う経済活動全般を財政といいます。

具体的には、市がさまざまな公共施設や、公的サービスを提供していくために、税金などのお金を集めて管理し、必要なお金を支払っていく活動のことです。

質問
1



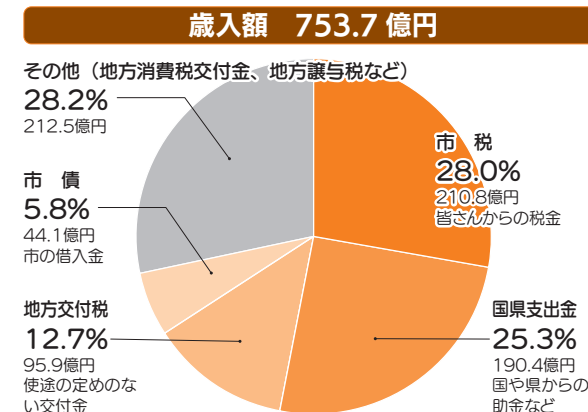
深谷市では、どこからお金が入ってきて、何にどのくらいお金を使ったの？

一般会計に入ってきたお金（歳入額）は753.7億円、使ったお金（歳出額）は696.9億円でした。

令和6年度と比較すると、市民税などの増加により、歳入額が83.2億円、幼稚園・こども館複合施設建設などにより、歳出額が72.0億円増加しました。



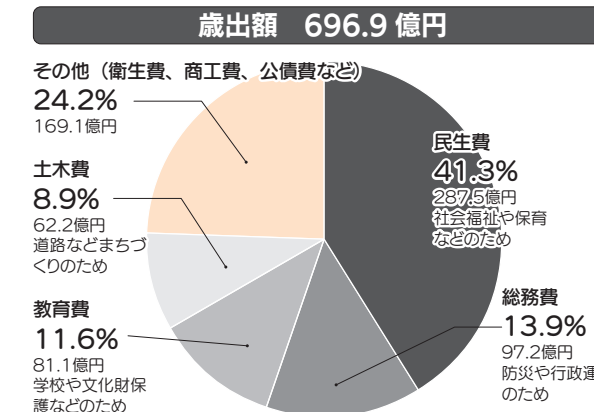
質問
2



市民の皆さんが納めたお金（市税）、国・県からもらうお金（国県支出金）が主な財源になっています。

用語解説

一般会計 市の基本的な経費（市税などを財源とした福祉・教育・土木などへの経費）を扱う会計



使ったお金（歳出）は、こどもや高齢者など、社会福祉のための民生費に多く使っていることが分かります。



令和7年度、深谷市は主にどんなことにお金を使ったの？

❶ 渋沢栄一政策推進事業 事業費5,359万円

新紙幣発行1周年と渋沢栄一翁生誕185年を記念し、『ピアフェス』などの記念イベントを行いました。また、渋沢栄一・渋沢敬三銅像を青森県から市内に移設しました。

❷ 地域通貨推進事業 事業費42億4,089万円

地域内経済循環や物価高騰対策のため、『ネギージャンボ抽選キャンペーン2025～新紙幣1周年記念～』や国の交付金を活用したポイントバックキャンペーンなどを実施しました。

❸ 幼稚園・こども館複合施設建設事業 事業費28億6,206万円

こどもふっかパーク（深谷市こども館）とふかや幼稚園との複合施設が完成し、令和8年4月1日に開設しました。



※事業費は、令和7年度に掛かった各取り組みの経費です。

市民の皆さん1人当たりに使われたお金 488,891円
139,866人（外国籍のかたを含む・令和8年3月31日現在）で計算

民生費	205,538円	商工費	41,886円
総務費	69,489円	衛生費	26,434円
教育費	57,968円	公債費	25,278円
土木費	44,439円	消費費	17,859円



質問
3



深谷市に、貯めているお金（貯金）や借りているお金（借入）ってあるの？

貯金（基金残高）、借入（市債残高）は下の表の通りです。

貯金（基金残高）	借入（市債残高）
331.7 億円	462.3 億円
前年度比 +11.2 億円	前年度比 +12.4 億円

大規模な災害などの緊急時に備えるほか、福祉や教育のような特定の目的のための積み立てや、公共施設の整備などのために積み立てています。今後も、基金や市債を計画的に有効活用していきます。



質問
4



深谷市の財政は健全なの？これから先は大丈夫？

下の表の通り、市の財政状況は健全な状態にあります。

経常収支比率（財政構造の弾力性の指標）		
89.5%	前年度 91.5%	全国平均より良い水準です
※令和6年度（最新統計値）の全国の市町村の平均値は93.8%です。		
実質赤字比率（財政の赤字の指標）		
—	黒字のため算定されません	黒字が継続しています
実質公債費比率（財政規模に対する公債費の指標）		
-1.1%	前年度 -1.5%	健全な状態にあります
※公債費（借入の返済）の実質的な負担が極めて少ない状態です。		
将来負担比率（将来負担すべき債務の指標）		
—	将来の負担よりも貯金などの備えが多いため算定されません	健全な状態にあります

経常収支比率が示す『財政構造の弾力性』とは、『お金の使い道のゆとり』のことです。100%に近いほど、ゆとりがなくなり、自由に使えるお金が少なくなることになります。



今後、社会保障にかかる経費や、施設の修繕などの維持管理費がさらに増加することが見込まれるため、引き続き適正な事業の執行に努め、将来にわたり持続可能な財政運営を心掛けていきます。



質問
6



一般会計のほかに、やりくりしているお金ってあるの？

一般会計以外の決算状況は下の表の通りです。

会計区分	歳入額	歳出額
特別会計	国民健康保険	140.8 億円
	後期高齢者医療	40.5 億円
	国済寺土地区画整理	7.0 億円
企業会計	水道事業	収益的収支 31.8 億円
		資本的収支 8.0 億円
	下水道事業	収益的収支 35.4 億円
		資本的収支 21.4 億円

※収益的収支の歳出額については、現金支出を伴わないものも含まれるため、歳入額より大きくなる場合があります。また、資本的収支の歳入額が歳出額に対し不足する額は、各会計の内部留保資金で賄っています。

一般会計以外には、特別な目的のために使う『特別会計』、水道事業など特定の事業を経理する『企業会計』があります。



市の令和7年度の会計区分は左の表の通り、国民健康保険、後期高齢者医療、国済寺土地区画整理の3つの特別会計と水道、下水道の2つの企業会計があります。



決算のことをもっと詳しく知りたいかたはこちらをご覧ください。

一般会計・特別会計



企業会計（水道事業）



企業会計（下水道事業）

